

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2025年度(令和7年度)第4回理事会議事録

1. 開催日時 2025年11月14日(金)9:00-12:15

2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20名
 出席理事 16名 (定足数11名)

4. 議 長 理事 ウォリス サイモン

5. 出席役員

理事 ウォリス サイモン

理事 小口 高

理事 阿部 なつ江

理事 河宮 未知生

理事 原田 尚美

理事 高橋 幸弘

理事 沖 大幹

理事 成瀬 元

理事 道林 克禎

理事 和田 浩二

理事 大谷 栄治

理事 小口 千明

理事 田近 英一

理事 長谷川 直子

理事 堀 利栄

理事 村山 泰啓

監事 鈴木 善和

監事 春山 成子

監事 松本 淳

オブザーバー

大気水圏科学セクションプレジデント 佐藤 薫

地球人間圏科学セクション幹事 松多 信尚

固体地球科学セクションプレジデント 田中 聡

地球生命科学セクションセクションプレジデント 大河内 直彦

地球生命科学セクション幹事 岡崎 裕典

ダイバーシティ推進委員会委員長 若狭 幸

学協会長会議議長 徳永 朋祥

国際コーディネーター 末廣 潔

6. 議事内容

審議事項

第 1号議案 新入会員承認の件

・定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。なお所属が大学になっているのにも関わらず種別を「小中高教員」となっている会員については本人に確認を行う。

第 2号議案 新委員承認の件

・フェロー審査委員会、三宅賞審査委員会、国際貢献賞委員会、会長賞審査委員会の各委員を審議した。一部資料において名簿の所属に誤りがあったので修正した。
各委員を承認した。

第 3号議案 和達賞審査委員の任期について

・規則の通り、初年度の審査委員について任期を1年とする委員と2年とする委員を審議した。案の通り承認した。

第 4号議案 若手ネットワーク小委員会設置の件

- ・ダイバーシティ推進委員会に若手ネットワーク小委員会を設置することを審議した。
- ・大会運営委員会主催のイベントでも若手が活躍しているので、連携して活動したいというコメントがあった。
- ・学協会だけでなくセクションとの連携がよいという点や、活動するうえでのプライバシーや収益の取り扱いについて注意が必要であるというコメントがあった。
- ・想定される若手ネットワークのうち、代表者のみを小委員会委員として位置付けるなど、制度上の整理が必要であるというコメントがあった。
- ・本小委員会は正副委員長も学生であることが想定されている。親委員会であるダイバーシティ推進委員会が十分監督できる仕組みを作ることが必要であるというコメントがあった。また、学位取得後8年後ということであると、必ずしも学生・大学院生とは限らないという指摘があった。
- ・学協会は「連合に所属する」よりは「加盟する」のほうが正確であるという指摘があった。
- ・任務については簡潔に記述するほうがよいというコメントがあった。
- ・継続審議とした。

第 5号議案 地球惑星科学振興西田賞資金取扱規則改定の件

- ・ご遺贈があったことに基づき、地球惑星科学振興西田賞資金取扱規則の改定を審議した。これを承認した。

第 6号議案 PlenaryTalks講演謝金および旅費の件

- ・PlenaryTalks講演者にBusinessClassまでの旅費と一律20万円の謝金を支払うことを審議した。これを承認した。

第 7号議案 AGUとの連携推進のための特定費用準備資金の支出について

- ・AGUとの連携推進のための特定費用準備資金の使途を審議した。これを承認した。

第 8号議案 JpGU-AGU Joint Meeting 2026（2026年大会）における団体会員以外の組織とのセッション共催申請の可否

- ・5組織からの4セッションとの共催を審議した。IMA関連のセッション（18 85 154）の追加申請を受け付け、合わせて承認した。

第 9号議案 その他

- ・和田理事より緊急動議があり、ハイブリッド大会参加者多様化促進事業積立資金の使途について審議した。ハイブリッド大会参加者多様化促進事業積立資金TFの議論に基づき、国内学生旅費支援に150万円、発展途上国居住者支援150万円、性別多様化支援に50万円を拠出する。審議の結果これを承認した。

3. 報告事項

1. ウォリス サイモン代表理事 職務報告

- ・GSA参加報告、Global Geoscience Leadership Meeting参加報告、IUGSの動向についての報告があった。

2. 小口 高理事 職務報告

- ・ジョイントミーティングでのAGU側からのコンビーナ参加促進活動について報告があった。AGU側のプログラム委員会が中心となってJpGU側の依頼を受けてAGU側からのコンビーナ推薦を行った。

3. 阿部 なつ江理事 職務報告

- ・Global Geoscience Society のInclusion and Representation in Geoscienceの会議への参加報告があった。AGUの予稿投稿は想定よりも少なくはならなかったという話題や、2027年に釜山で開催されるIUGGに向け情報収集している、という話題があった。

4. 原田 尚美理事 職務報告

- ・環境災害対応委員会の活動報告があった。U15がセッション統合の対象となり、現在調整中調整中である。
- ・文科省のロードマップ2023の改定（ロードマップ2026）について報告があった。4月に公募が開始される見込みである。

5. 河宮 未知生理事 職務報告

- ・スポンサー関連の活動報告があった。近々AGUとの第3回目の会合を行う。スポンサーの条件についてすり合わせを行う予定である。

6. 高橋 幸弘理事 職務報告

- ・関連学会との連携活動について報告があった。
- ・人工知能学会誌へ飯田委員が寄稿した。合同研究会を開催予定である。2026大会へのセッション提案をおこなった。
- ・環境経済・政策学会 SEEPS「環境経済・政策研究」18-2号（SEEPS30周年記念号）へ高橋主査が寄稿をした。JpGU-AGU 2026 共同でセッションを開催する。
- ・[International Cooperative Agreementの契約学会との共催セッション]を4件提案した。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

- 総務関連の報告があった。
- ・後援報告があった。
- ・公益法人におけるテロ資金供与対策について、内閣府より確認依頼があり、確認のうえで該当していないことを総務より報告した。引き続き本件について十分な対策を講じていく必要があると報告があった。
- ・選挙関連の報告があった。代議員選挙結果を公開した。プレジデント選挙の告示をおこなった。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

- 財務関連の報告があった。
- ・追加予算の申請を募集しているので必要なものがあったら申請してほしい。
- ・来年度予算の申請を募集開始する予定である。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

- 大会運営関連の報告があった。
- ・プログラム委員会の活動について報告があった。10月21日にセッション採択会議、11月6・7日にプログラム編成会議を開催した。仮コマ案を作成した。288件のセッションが採択された。2025年大会より約2割増となる。Eセッションは全体の76%であった。

・大会参加登録料および投稿料の改定を議論した。一般会員参加登録料を31,020円、学生他は14,300円へ改定、早期投稿料は据え置き、通常投稿料を9,900円へ改定するという案が紹介された。特に反対意見はなかった。

・2025大会からの変更点が説明された。全てのセッションはAGUとのジョイントセッションとなる。主要言語は英語となる。PM3の終了時間は19:00となる。

・プレナリートーク、Great Debate、昼休みのイベントについて準備報告があった。

・懇親会企画、Networking Get-Together(NGT)について準備報告があった。

・ハイブリッド大会参加者多様化促進事業積立資金との関連で、対象となる国/地域別参加者数の報告があった。

・展示ホールのレイアウトについて準備報告があった。

・他イベント、巡検、JAXA,JAMSTEC講演会について準備報告があった。また、イベント企画を近日中に募集する。

・環境負荷に配慮し紙コップを廃止することを検討している旨報告があった。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

・ウォリス会長より代理でグローバル関連の報告があった。18日（火）に委員会開催を予定している。

11. 広報普及委員会活動報告（田近理事）

○広報関連の方向があった。

・JGL11月号が発行された。

・高校生のための公開講座を12月26日に開催する。

・褒章関連について報告があった。これまでは情報の完全な把握が難しいこともあり、周知はしていなかったが、今後は春秋の褒章については調査し掲載する。それ以外の賞については広く情報を寄せていただけるような仕組みを用意する。掲載の基準や判断については広報普及委員会を中心に対応する。

12. 環境災害対応委員会報告（小口 千明理事）

○環境災害対応関連の報告があった。

・U-15セッションの準備状況について報告があった。

13. ダイバーシティ推進委員会活動報告（堀利栄理事）

○ダイバーシティ推進関連の報告があった。

・2026年大会でもDEIのユニオンセッションを開催する。

14. 教育検討委員会活動報告（宮嶋敏理事）

○教育関連について事務局より代理で報告があった。

- ・ Earth Science Week・Japanの報告があった。
- ・ 理数系学会教育問題連絡会の報告があった。

15. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

○システムリプレイス関連の報告があった。

・ TFおよび事務局とベンダーとの間で打合せを実施した。基本契約書と発注書の締結を進めている。

・ RFPに入っていなかったシステムが3件あったが、これらもベンダーの計画には含まれている。

・ 追加費用が発生しないように進めていく。

○RDM-TFの活動について報告があった。

○オープンサイエンス関連の活動について報告があった。Shelly Stall氏が新たなNSF Grantを獲得し、AGU,EGUとともにJpGUにも活動に参画することが期待されている。

○国連オープンサイエンス・スカラシップ会議への参加報告があった。

16. ジャーナル関連活動報告（掛川理事理事）

○ジャーナル関連について河宮副会長より代理で報告があった。

・ 編集長会議を開催しSPEPSの受け入れ等について検討した。

・ 投稿出版状況については順調に推移しておりすでに過去最高となっている。

・ IFについて質問があり、3年のものは昨年より復調する見込みであるという説明があった。

17. 顕彰委員会活動報告（道林理事）

・ 顕彰関連の報告があった。ハイブリッド大会参加者多様化促進事業積立資金TFに参画し議論を行った。

18. その他

・ ウォリス会長より行動規範関連の報告があった。会員が住居侵入の疑いで逮捕されたという情報があった。本件については行動規範や倫理委員会規則に則って対応する。鈴木弁護士から事実確認等から開始するのがよいというコメントがあった。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後12時15分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

2025年11月14日

出席理事	ウォリス	サイモン	印
------	------	------	---

出席理事	小口	高	印
------	----	---	---

出席理事	阿部	なつ江	印
------	----	-----	---

出席理事	河宮	未知生	印
------	----	-----	---

出席理事	原田	尚美	印
------	----	----	---

出席理事	高橋	幸弘	印
------	----	----	---

出席理事	沖	大幹	印
------	---	----	---

出席理事	成瀬	元	印
------	----	---	---

出席理事	道林	克禎	印
------	----	----	---

出席理事	和田	浩二	印
------	----	----	---

出席理事	大谷	栄治	印
------	----	----	---

出席理事	小口	千明	印
------	----	----	---

出席理事	田近	英一	印
------	----	----	---

出席理事	長谷川	直子	印
------	-----	----	---

出席理事	堀	利栄	印
------	---	----	---

出席理事	村山	泰啓	印
------	----	----	---

出席監事	鈴木	善和	印
------	----	----	---

出席監事	春山	成子	印
------	----	----	---

出席監事	松本	淳	印
------	----	---	---

